

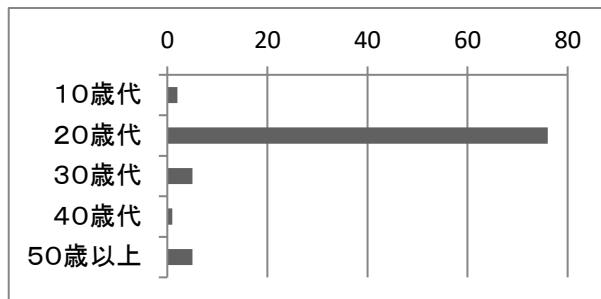
平成29年度人権教育指導者養成事業「人権教育指導者研修会」

(医療関係者研修会) アンケート集計結果

日時／平成29年4月27日(木) 場所／仙台青葉学院短期大学 参加人数／99名(アンケート提出89名)

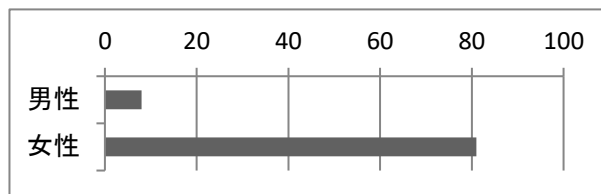
1 参加者の年齢構成

	人数	割合
10歳代	2	2.2%
20歳代	76	85.4%
30歳代	5	5.6%
40歳代	1	1.1%
50歳以上	5	5.6%
合計	89	



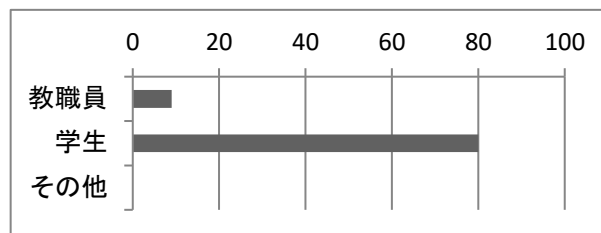
2 参加者の男女比

	人数	割合
男性	8	9.0%
女性	81	91.0%
合計	89	



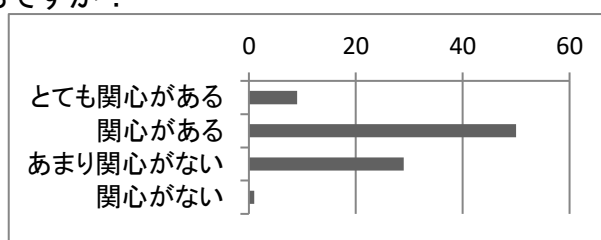
3 参加者の所属等

	人数	割合
教職員	9	10.1%
学生	80	89.9%
その他	0	0.0%
合計	89	



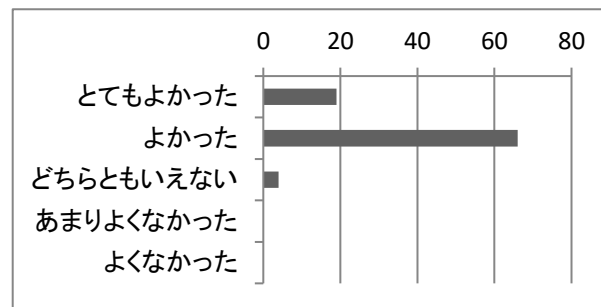
4 あなたは日頃、「人権」について関心をお持ちですか？

	人数	割合
とても関心がある	9	10.1%
関心がある	50	56.2%
あまり関心がない	29	32.6%
関心がない	1	1.1%
合計	89	



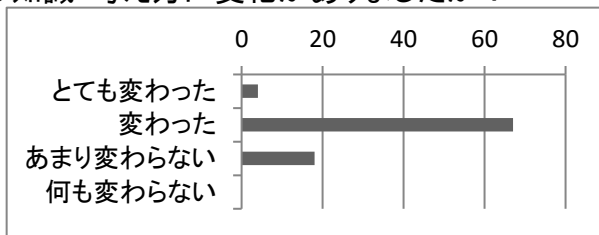
5 今日の研修会はいかがでしたか？

	人数	割合
とてもよかった	19	21.3%
よかった	66	74.2%
どちらともいえない	4	4.5%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
合計	89	



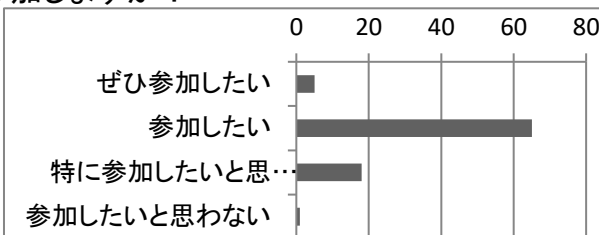
6 今日の研修会に参加して、「人権」についての知識・考え方に変化がありましたか？

	人数	割合
とても変わった	4	4.5%
変わった	67	75.3%
あまり変わらない	18	20.2%
何も変わらない	0	0.0%
合計	89	



7 今後、「人権」について学ぶ機会があれば、参加しますか？

	人数	割合
ぜひ参加したい	5	5.6%
参加したい	65	73.0%
特に参加したいと思わない	18	20.2%
参加したいと思わない	1	1.1%
合計	89	



8 「人権」について今後聞いてみたい内容にはどのようなものがありますか？（複数回答）

	人数	割合
子どもの人権	38	24.4%
女性の人権	43	27.6%
高齢者の人権	34	21.8%
障がいがある人の人権	40	25.6%
その他	1	0.6%
合計	156	



※その他(自由記述)は、「発展途上国の子どもや難民の人権」

9 本日の研修会に関してのご意見・ご感想をご記入ください。

- ・人権を尊重することは難しいことではなく、相手を大切にすることであると改めて考える機会となりました。(50代女性・教職員)
- ・ワークショップで、思っている以上に見ているつもりでも、集中してしまうと周囲が見えなくなることを実感しました。人権という言葉となるとなかなか難しく感じるが、人として尊重することがまず一歩であることが分かった。(20代女性・学生)
- ・看護師の仕事は人間らしい活動であり、人間の本能にもともとあった気持ちである、というのは発見でした。生きる意欲を回復させる仕事をするために、自分を大切に、そして他人も大切に尊重していきたいと思えます。実習中の気づきを大切にしたいと思います。人権の視点を意識してみると、見え方が違ってくる。意識して実習したいと思います。(30代女性・学生)
- ・相手を尊重するには、自分が尊重されていると感じなければならないと聞き、まずは相手が自分にどんな興味があるのか、考えていけたらと思います。(20代女性・学生)
- ・患者として見てしまうことが多々あったので、同じ一市民として隣人として見ていく姿勢で、患者さんと接していきたいと思えます。身体を治すだけでなく、生きる意欲を回復させる一員となれるよう、看護の学びを深めていきたいと思えます。(20代女性・学生)
- ・人権について今回学習をして、とても難しいところもあるがとても大切だということが分かりました。障害や病気を持っているからといって、好奇心目で見ないで関わっていきたくて改めて感じました。(20代女性・学生)
- ・どんな人にも動物にも権利(人権)があり、一人一人が平等なのだ改めて学んだ。看護師として働く上でも、様々な人と関わっていくため、どんな人にも敬意を持ち接していきたいと感じた。(20代女性・学生)
- ・看護師を目指している中、今日の講義を聞いて、看護職を改めて誇りに思いました。看護をしていく上で、技術だけにとらわれず、人権のことを忘れず、素敵な看護師になりたいなと思いました。(20代女性・学生)

- ・他者を尊重するためには自分自身を大切にすること。「自尊感情」の大切さを改めて感じ、考えさせられました。(50代女性・教職員)
- ・平等に見て接していきたいが、すべて平等はないと思います。平等が望ましいのは分かるのだが、そう思うのも一個人。相手が望むのであれば、不平等でもかまわないと思った。(20代男性・学生)
- ・アイスブレイクのおかげで緊張がほぐれた。誰かの緊張を解くとき、私も活用してみようかなと思った。他人を尊重するためには自分を大切にすること。それが次の学びにつながるということが分かった。(20代女性・学生)
- ・貴重なご講演をいただき、ありがとうございました。(40代女性・教職員)
- ・気づきのワークショップを通して伝えたい内容がよく分かりませんでした。(20代女性・学生)
- ・看護師になったら、疾患だけでなく、対等な同じ人として視点を忘れていけないと改めて感じました。人として回復していけるような看護を目指そうと思いました。(20代女性・学生)
- ・人はみんな尊重される権利を持っているということが改めて分かった。(20代女性・学生)
- ・人権と聞くと、人間が誰しも有している権利、個人が一人の価値のある人間として存在し、意思決定をすることができるというイメージがある。私たちは医療従事者となろうとしている。そのための専門的な知識や技術、実習による経験知が必要であることはもちろんだが、根本的な人間としての関係や接し方、対象者に対する思いが大切だと言うことを理解した。「人間」という動物は群れを要すること、群れから外されることを一番恐れていることが分かった。群れから外され、「人間」として自分も群れの仲間たちと同じ扱いを受けられないことが、対人関係としての緊張感であったり、ストレスで身体的にも生理的にも現象が起きることが分かった。そのような「危険」を解消できないと、『生きる意欲』を失いかねない。看護の仕事の「人間らしい活動」という特性を生かし、対象者の『生きる意欲』を回復させるということを忘れず、そのような姿勢で業務に努めたいと感じた。今日はお忙しい中、講話をしてくださりありがとうございました。(20代女性・学生)
- ・貴重な経験をすることができてよかったです。ありがとうございました。(20代女性・学生)
- ・様々な視点から人権を知ることができ、良かったです。人権というものの大切さを改めて感じ、今後につなげていきたいです。(20代女性・学生)
- ・「大切なことは意識しないと見えない」。私もそう思います。たくさんのことを改めて考えるきっかけになりました。簡単に言葉では表現はできませんが、自分も何とかしたい・・・と思いました。(20代女性・学生)
- ・「患者さん」という見方で、問題がある前提で見るのではなく、「一人の尊重されるべき人」ということを常に忘れず、看護はもちろん、これからも意識していきたいと感じました。当たり前のことだと思わず、相手のことを思いやり理解するためにも、自分はどんなことをされたらどんな思いになるのか考え、自分も誰か(みんな)を尊重していきたいです。ありがとうございました。(20代女性・学生)
- ・「支えの信条」を聞いて、障害についての考え方が変わりました。看護の仕事は、生きる意欲を回復させる仕事だということが分かり、このことを実習でも忘れないようにしたいと思いました。(20代女性・学生)
- ・最後の映像はとても心に染み込みました。また、自分のことを自分で決められない辛さなどとても印象に残りました。その人にとって何が最善なのか、相手の立場に立ってよく考え行動していきたいです。(20代女性・学生)
- ・1つのことに注目するとなかなか周囲に気づけないと改めて実感した。自分自身で自分を尊重し、他人にも尊重してもらおうとすることで、すべての人間の尊重につながると感じた。「支えの信条」を聞いて、このような考えも改めていくべきだと思った。(20代女性・学生)
- ・一点のことに集中すればするほど周りのことは見えなくなると学び、多くのことを知るためには常に全体を見ると意識することが大切だと分かった。私自身、全体を見るということが難しいため、今後の課題だと感じた。(20代女性・学生)
- ・私は現在、障害のある子どもたちと関わるボランティアをやっています。障害と聞くと偏見の目があったり、周りからの差別だったり、いじめがあるということは事実です。しかし、障害ある子どもたちもとても生き生きとしていて、子どもたちなりにたくさんのことを考え、たくさん成長を見ることがあります。そういう子どもたちを変な目で見たりせず、できることをたくさん伸ばしていけるような支援が必要なのではないかと改めて感じました。(20代女性・学生)
- ・患者やその家族の人権を尊重することは看護・医療の基本だと思っていましたが、看護師や医療従事者の人権も同様に大切なものであるということに気がつきました。「人を尊重できなくなる時」「他人を尊重し続けるためには」のお話がとても印象に残りました。患者だけではなく、教員が学生に対して・学生間・学生一臨床指導者、お互いに尊重し合える関係を築きたいと思いました。(30代女性・教職員)
- ・人権という言葉は、小学校から聞く機会が多くありました。看護学校に入ってから、人権だったり、倫理のことを学ぶ機会が増えました。今日話を聞いて、年代ごとに人権だったり尊重することが違っていくんだなと感じました。自分の経験がもっとあれば、相手の気持ちに気づいて尊重するということにつなげていけるのだと思いました。(20代女性・学生)

- ・人権とは目に見えないものであり、意識して気をつけないと気づけないものだった。自分自身の人権も、相手の人権も大切にすることが大事だった。(20代女性・学生)
- ・尊重されないのは自分も嫌なので、他人を尊重する大切さを学んだ。他人の見方って難しいと思った。最後のビデオを見て、自分が決めつけていることもあったのかなと感じた。大切にされることで、自分の価値があると感じるのだなと改めて気づいた。(20代女性・学生)
- ・睡眠不足はパフォーマンスの低下につながる。眠気の前ではあまりにも無力。生活の中でいかに睡眠をとるか、実習でもそこできなくてただ辛くなっていくのを思い出します。心がぐっとなったお話でした。技術もそうですが、気持ちのある看護師になりたいです。(30代女性・学生)
- ・最初のワークショップでは、いかに他人に興味を持たないと周囲に目を配ることができないのだとよく分かりました。現在実習前で時間がなく、睡眠不足で正直自分のことで手一杯でした。こんなことでは他人を尊重できないため、もう少しゆとりを持たなければいけないと思いました。(30代女性・学生)
- ・看護師としてだけでなく、人として大事なことを学べました。ずっと忘れないでいようと思いました。(20代女性・学生)
- ・「支えの信条」を見て、とても切実な想いに胸が苦しくなりました。(20代女性・学生)
- ・勉強になりました。周りを見ることは、簡単そうで難しいと思った。(20代女性・学生)
- ・「権利は侵害されながら生まれてきた」というお言葉がありましたが、完全に人権が尊重される日は来るのでしょうか。人権が完全なものになるために、私たちに少しでもできることがあるなら協力したいです。実習で疲れが溜まると、肝心の「人を尊重できなく」なってしまうので、まず自分自身をコントロールできるようにならなければいけないと思います。(30代女性・学生)
- ・自分は思っている以上に周りを見ていなくて、見ようという意識が大切であると気付けた。障害のある人を見ると助けてあげようと思うけれど、障害者という目で見ずに、助けが必要か確認することが大切だと分かった。(20代女性・学生)
- ・気づくということは、一点に集中していてもできなこともあり、周囲を広く見る必要があると分かった。(20代女性・学生)
- ・今回の人権の話聞き、看護師になったときには患者の人権を一番に考えられる看護師になりたいと思いました。患者の思いを見ようとしなければ見えないと思うので、ちょっとした思いも感じとれるようになりたいと思います。(20代女性・学生)
- ・看護学科3年だけではなく、1・2年生も聞くことで実習へつなげることができると思う。(20代女性・学生)
- ・今日の研修会を聞いて、看護師として働こうとする中で、自分を省みる機会を設けるべきだと感じる事ができた。(20代女性・学生)
- ・自分が尊重されなければ、相手を尊重することは難しいという、人権の新しい視点を見つけることができた。孤独にならない環境を作ることが重要になると思った。一人一人が心に余裕を持つことも大切だった。(10代女性・学生)
- ・ありがとうございました。今回の話を聞いて「人権とは何か」を考えることができました。自分を大切にすることで、相手も大切にできると改めて感じました。(20代女性・学生)
- ・今回の話を聞いて、人権についての考え方が大きく変わりました。ワークショップでは、自分の視野の狭さを感じ、視野を広くしていきたいと感じました。また自分自身でも、自分を尊重することが大切であると気づくことができました。本日はありがとうございました。(20代女性・学生)
- ・気づきを大切にしようという心が、相手のことを尊重するというふうになりました。私は、どちらかというと自尊感情が低いので、周囲の中でなかなか相手に自分の言いたいことが言えていないのではないかなと思います、時々声をかけてしまいます。「支えの信条」を聞いて、それは自分のエゴかもしれないと思い、その人が本当に言いたいことが言えていないのか確認してみればいいんだと分かりました。「支えの信条」は障害のある人だけではなく、すべての人に共通していることだと思いました。(20代女性・学生)
- ・人権は特別なものではなく、日常生活の一部として考えるようにしたいと思いました。今日講義で話していただいたことは、これからの実習などのときにも心にためて頑張っていきたいと思いました。(20代女性・学生)
- ・看護は最も人間らしい仕事であり、マイナスからゼロさらにプラスにさせる関わりができる職業だという言葉聞いて、改めて看護師を目指した初心に戻ることができた。この学びをしっかりとつなげて、どんどんふくらませていきたい。(20代女性・学生)
- ・「支えの信条」を見て、相手のことを読み取るということはとても難しく、相手を理解して行動することは本当に相手にとって良いことなのかということを考えていく必要があるのではないかと感じました。実習を通して、自身の考え等を深め、自他共に尊重していくことを心がけたいと思いました。(20代男性・学生)

- ・「支えの信条」を見て、これから私たちが実習を行う上で、人との関わりについての考え方をもう少し考えていかなければならないと感じました。相手を理解するということがどのようなことを改めて考え、簡単なことではないと感じました。(20代男性・学生)
- ・人権について考えたことは授業以外ではあまりなく、だけどこれから社会に出る際には必ず人権についてたくさん考えられるので、もっともっとこのような研修会には参加していきたい。(20代女性・学生)
- ・自分のことを尊重できてはじめて他人のことを尊重できるのかなと感じました。まず、自分のことをもう少し大切にしようと思いました。生きている人がただ持っている権利ではなく、その人らしく生きていく権利という認識になりました。(20代女性・学生)
- ・看護の仕事の特徴として、身体を治すだけではなく生きる意欲を回復させることも重要であることを感じた。(20代女性・学生)
- ・「人は意外とまわりを見ていない」ということを身をもって感じることができました。私は、『ここねっと』という自閉症を抱えた子どもたちのボランティアに何度か参加していますが、確かに公平・尊重よりも救済・慈悲という目で見えてしまっていたなと気付くことができました。(20代女性・学生)
- ・改めて人権ということについて考えさせられた。最後の「支えの信条」の言葉がすごい心に響いた。患者さんの上に立つのではなく、対等な立場でケアを行える看護師になりたいと思った。(20代女性・学生)
- ・楽しく研修会に参加できました。人権について、倫理や価値と今まで学んだことを改めて思い出しました。看護師の仕事＝身体を治すことだけ？＝「生きる意欲を回復させる」ということを、これからも忘れずに、大切にしていきたいです。(20代女性・学生)
- ・日常の中で、人権を意識するということがなく、今回の研修で人権はこういうものかと理解できた。(20代女性・学生)
- ・人権についてたくさんを知ることができました。(20代女性・学生)
- ・人権のお話を聞いて「自分だけ取り残されている」と感じた時に、人は生きる意欲を失ってしまうのだと分かりました。人として、看護職として、「生きる意欲を回復させる」という大それたことではなく、「生きていける」という気持ちになれるように支えていくことが大切なのだと思います。その人に「生きたい」と思ってもらうのは難しいことで、また、おこがましいことでもあるのではないかと思います。それよりも「こんな自分でも生きていいんだ」と思ってもらえるように、思いやりを持って接することが大切なのだと感じました。(20代女性・学生)
- ・他人の人権を尊重することは、まず自分を尊重することから始める。(20代女性・学生)
- ・看護を通して、弱い立場にある人・健康でない人の生きる意欲を回復させる仕事だと学び、必要なのは知識や技術、チームワークだけではないと感じた。(20代女性・学生)
- ・自分が意識しなければ気が付かないことがたくさんあると感じた。実習でもそうだが、知ろうとしないと知ることができないため、関心を持ち、知ろうとすることが対象理解につながるのだと思った。(20代女性・学生)
- ・興味があるテーマでも、改めて研修を受けたことがありませんでした。本日感じた「人権」について、学生とともに考えながら、今後の指導そして自分の生活の中で活かしていけたらと思います。本日は貴重な研修ありがとうございました。(50代女性・教職員)
- ・自分を大事にすることで、相手のことも尊重することができるということは、とても素晴らしい気づきだった。対人関係から受けるストレスと、生命の危険におけるストレスの類似性には驚きが大きかった。(20代男性・学生)
- ・「支えの信条」の言葉ひとつひとつが心に響いた。(20代女性・学生)
- ・自分のことを尊重できない人は、他人のことも尊重できないと思った。まずは自分を大切にしたい。(20代男性・学生)